

令和元(2019)年度

利用のしおり



京都府立 るり溪少年自然の家

《自然の家の予約・問い合わせ》

京都府立るり溪少年自然の家（グリーンパルるり溪）

〒622-0065 京都府南丹市園部町大河内小米阪1番地9
TEL 0771-65-0190 / FAX 0771-65-0191

ホームページ <http://www.kyoto-rurikei.jp/>

もくじ

京都府立るり溪少年自然の家（概要）	1
利用当日までの流れ	2
使用承認申請書（第1号様式）〈記入例〉	3
使用承認申請書（第2号様式）〈記入例〉	4
使用料減免申請書（第3号様式）〈記入例〉	5
食事数申込書 〈記入例〉	6
利用日程表 〈記入例〉	7
備品借用及び教材購入申請書 〈記入例〉	8
利用の計画にあたって	9
安全管理・省エネについて	11
健康管理について	12
その他	12
館内食堂の利用について	13
野外炊飯について	14
シーツと寝具について	18
清掃場所と内容について	19
退所点検チェック表	20
料金表	21
施設平面図	22
食堂・クラフト棟平面図	23
府民利用施設等木質化事業の取組みについて	25
京都府立るり溪少年自然の家 使用上の注意事項	26
◆プログラム資料	
クラフト制作について	27
キャンプファイア・キャンドルファイアについて	28
キャンプファイアの活動例	30
キャンドルファイアの活動例	32
クイズラリーマップ	33
深山ハイキングコース案内	34

京都府立るり溪少年自然の家(概要)

名勝るり溪と通天湖、眺望のすばらしい深山(791m)連峰にかこまれた緑豊かな高原に、京都府立るり溪少年自然の家があります。このすばらしい環境で自然に親しみ、自立、協同、友愛、奉仕などの尊さを学び、豊かな人間性を育む社会教育施設です。

■施設

【本館】	○宿泊室	1階 和室	10部屋(寝具数15名分)
		1階 リーダー室	2部屋(寝具数4名分、3名分)
		2階 和室	8部屋(寝具数10名分)
		2階 リーダー室	2部屋(寝具数4名分、3名分)
○付帯設備	プレイホール	定員300名(23m×11m=253㎡)	
	研修室	定員200名(16m×12m=192㎡)	
	談話室	定員24名(10m×6m=60㎡)	
	食堂	定員220名(座席数210席)	
	浴室①	定員15名(カラン:10)	
	②	定員20名(カラン:12)	
	談話コーナー(2箇所)		
保健室			
【クラフト棟】	定員70名(12m×11m=132㎡)		
【営火場】	2箇所(営火場A、営火場B)		
【キャンプ場】	野外炊飯場(定員120名)、テントサイト		

■所在地

〒622-0065

京都府南丹市園部町大河内小米阪1番地9

TEL 0771-65-0190 / FAX 0771-65-0191

利用当日までの流れ

■事前協議会・野外活動オリエンテーションについて

当日の活動を円滑に実施するために、2ヶ月前をめどに事前協議会・野外活動オリエンテーションを以下の目的で実施します。

(1) 野外活動オリエンテーション

利用団体指導者が、野外活動（野外炊飯、キャンプファイヤー等）に関する基本的な知識を習得する機会とする。

(2) 事前協議会

ア 団体指導者に利用に関する使用申請書類、留意事項等について周知する。

イ 団体指導者に活動可能なプログラムを提示する。

ウ 利用団体が希望する日程や活動プログラムを把握するとともに、団体間の調整を図り、円滑に進行できる日程及び活動プログラムを作成する。

エ 団体指導者の当施設の下見の機会とする。

※事前協議会・野外活動オリエンテーションに御出席いただけない場合は、希望に沿った活動ができないことがありますので、予めご承知おき願います。

■下見について

事前協議会・野外活動オリエンテーションとは別に少年自然の家に下見にお越しいただく際は、事前に御連絡をお願いします。事前連絡なしで下見に来られた場合は、当日の利用団体等の関係で、十分見学していただけない場合があります。

■必要書類の提出について

利用日の**1ヶ月前**までに以下の書類を御提出ください。

- ①京都府立るり溪少年自然の家 使用承認申請書（第1号様式）
- ②京都府立るり溪少年自然の家 使用承認申請書（第2号様式）
- ③京都府立るり溪少年自然の家 使用料減免申請書（第3号様式）
- ④食事数申込書
- ⑤利用日程表
- ⑥京都府立るり溪少年自然の家 宿泊者名簿
- ⑦備品借用及び教材購入申請書
- ⑧冷暖房使用申込書（※利用日当日の提出でも構いません）
- ⑨給食・野外炊飯メニュー アレルギー対応シート
- ⑩その他必要な書類

※提出書類は、押印のうえ、郵送又は持参をお願いします。

※②、③、⑦～⑩については、必要な団体のみ提出してください。

使用承認申請書（第1号様式）＜記入例＞

宿泊利用の使用承認申請書です。宿泊される団体はこの申請書を提出してください。

(第1号様式)

承認番号

京都府立るり溪少年自然の家 使用承認申請書

※※〇〇年〇〇月〇〇日

京都府立るり溪少年自然の家指定管理者
グリーンパルるり溪共同事業体

公印又は代表者印を押してください。

申請者 所在地 **京都府南丹市大河内小米坂1-9**

 団体名 **るり溪小学校**

 代表者 **るり溪 太郎**

 TEL **0771-00-0000**

 FAX **0771-00-0000**

小
る
学
り
校
溪

下記のとおり京都府立るり溪少年自然の家

使用目的 **宿泊学習** 宿泊の時間区分は13時～13時の間で記入してください。

使用期間 令和〇〇年〇〇月〇〇日 **13**時から〇〇月〇〇日 **13**時まで

(宿泊棟 宿泊者数)

区 分	第1泊目			第2泊目			第3泊目			第4泊目			第5泊目			合 計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
幼 児																
小中学校	27	29	56	27	29	56										112
高 校 生																
一 般	2	2	4	2	2	4										8
合 計	29	31	60	29	31	60										120

宿泊される方全ての人数を記入してください(看護師やバスの運転手等が宿泊される場合も含めてください)。

延べ人数を記入してください。

(キャンプ場 宿泊)

区 分	第1泊目 男	第4泊目			第5泊目			合 計
		男	女	計	男	女	計	
幼 児								
小中学校								
高 校 生								
一 般								
合 計								

使用承認申請書（第2号様式）＜記入例＞

日帰り利用の使用承認申請書です。日帰りで利用される場合は、この申請書を提出してください。
(日帰り料金がかかります)

※宿泊の利用団体で入所日の13時より前、または退所日の13時より後にプレイホール、研修室、クラフト室の使用を希望される場合も、この申請書が必要となります。ただし、空いている場合に限ります。なお、宿泊の区分内で使用される場合は必要ありません。

(第2号様式)

承認番号 _____

京都府立るり溪少年自然の家 使用承認申請書

**〇〇年〇〇月〇〇日

京都府立るり溪少年自然の家指定管理者
グリーンパルるり溪共同事業体

公印又は代表者印を押してください。


所在地 **京都府南丹市大河内小米坂1-9**

申請者 団体名 **るり溪小学校**

代表者 **るり溪 太郎**

TEL **0771-〇〇-〇〇〇〇**

FAX **0771-〇〇-〇〇〇〇**



下記のとおり京都府立るり溪少年自然の家の使用承認を申請します。

使用目的	宿泊学習
使用期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 10 時から 13 時まで

(日中利用)

区分	プレイホール			男	合計
	男	女	計		
幼児					
小中学校	27	29	56		56
高校生					
一般	2	2	4		4
合計	29	31	60		60

宿泊の団体で入所日の13時より前に利用される場合は利用開始時間から13時まで、退所日の13時より後に延長して利用される場合は13時から利用終了時間(最大17時)までを記入してください。

使用される場所の人数を書いてください。

延べ人数を記入してください。

使用料減免申請書（第3号様式）＜記入例＞

該当者がある場合は、この申請書を提出してください。押印は、「申請者（代表者）印」と「学校長印」の2箇所共必要ですので御注意ください。

(第3号様式)

京都府立るり溪少年自然の家使用料減免申請書

※※〇〇年〇〇月〇〇日

京都府立るり溪少年自然の家指定管理者
グリーンパルるり溪共同事業体

公印又は代表者印を押してください。


所在地 **京都府南丹市大河内小米坂1-9**

団体名 **るり溪小学校**

申請者 代表者 **るり溪 太郎**

TEL **0771-00-0000**

FAX **0771-00-0000**



下記のとおり 減額免除の根拠に該当する児童生徒等の使用料の 減額免除を申請します。

使用期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 13 時から〇〇月〇〇日 13 時まで
減額免除の根拠	(1) 児童福祉法に規定する児童福祉施設 (2) 就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律第2条の規定の適用を受ける児童生徒 (3) 特別支援教育就学奨励事業の対象となっている児童生徒及び付添人
※ 減額免除者数	小学生 名 中学生 名 計 名 高校生 名 一般 名
※ 減額免除金額	小中学生 円 × () 名 × () 泊 高校生 円 × () 名 × () 泊 一般 円 × () 名 × () 泊

使用期間を記入してください。

※ 欄は申請時には記入しないでください。

減免の根拠に該当する児童生徒の氏名及び根拠の番号

〇〇 〇〇 (2)	〇〇 〇〇 (2)	〇〇 〇〇 (2)	〇〇 〇〇 (2)
〇〇 〇〇 (2)	〇〇 〇〇 (2)	〇〇 〇〇 (2)	()
		()	()
減額免除の根拠(1)～(3)に該当する児童生徒の氏名と、()の中に該当番号を記入してください。			()
()	()	校長印を押してください。	

上記のとおり相違ないことを証明します。

学校名 **るり溪小学校**

学校長 **るり溪 太郎**



食事数申込書 <記入例>

食事を注文される場合は、この申込書を提出してください。

食事数申込書

公印又は代表者印を押してください。

※※〇〇年〇〇月〇〇日

団体名 **るり深小学校**
 申込者 代表者名 **るり深 太郎**
 TEL **0771-00-0000**
 FAX **0771-00-0000**



下記のとおり食事数等申し込みます。

食事数等記入欄

月 / 日 (隔)	メニュー	メニュー	メニュー
6 / 1 (土)		食	夕食 17:30 ~ 60 食
6 / 2 (日)	8:00 ~ 60 食	11:30 ~ 60 食	食
食事を食べられる日程を記入してください。	メニュー	メニュー	メニュー
※食事時間は、以下の時間内で設定してください。			
朝食	7:30~9:00まで	昼食	11:30~13:00まで
※メニュー欄には、特別食の場合は、「特」とメニュー」、弁当の場合は、「弁」とメニュー」、野外炊飯なら「飯」とだけ御記入いただき、下記に詳細を記入してください。			
特記事項	食物アレルギー対応シート提出 (<input checked="" type="radio"/> あり) ・ なし) ※どちらかに〇をしてください。		

野外炊飯記入欄

野外炊飯を食べられる日程を記入してください。	人数	班数	合計	メニュー	カレーライス
6 / 1 (土)	6人	1班	6人		
	7人	2班	14人		
	8人	5班	40人		
朝・昼・夕					
該当するものに〇をしてください				食材受取り時刻	(15:00)
合計	8	班	60人	ご飯は	自炊する () 食堂で炊く (<input checked="" type="radio"/>) (17:15)

食数の変更について

- 〇「6食以上の食数変更」、「提供...
 - 〇「利用当日の昼食、弁当の5食以内...
 - 〇「利用当日(夕食)の5食以内の...
- なお、上記以降の変更については...

かまどは屋外と屋根の下にそれぞれ16箇所あります。ご飯とおかずを自炊する場合、1班に2箇所のかまどが必要となりますので、雨天時を想定し、班数を検討してください。

団体でご飯を炊くか、炊き米(食堂にて炊いたごはんを提供)を希望するか、どちらかを選んで〇をしてください。炊き米を希望する場合は、必ず受取り時間も記入してください。

(F A X : 0771-65-0191)

(自然の家 職員記入欄)

標準食

①	/	
②	/	
③	/	

特別食・野外炊飯

①	/	
②	/	
③	/	

利用日程表 < 記入例 >

宿泊される団体は、この利用日程表を提出してください。
 2泊以上宿泊される団体は、「利用日程表(2泊以上)」の1日目と2日目以降の様式を提出してください。

京都府立るり溪少年自然の家 利用日程表(1泊2日)

団体名	るり溪小学校
利用日程	○月○日(土)～○月○日(日)

◆晴天時

時間	プログラム	実施場所
13:00	入所式	営火場B
13:15	入所後ミーティング	
14:45	野外炊事	野外炊飯場
17:30	夕食(館内食(野外炊飯))	
18:30	入浴(19:30まで)	営火場A
19:30	キャンプファイア(20:30まで)	
22:00	就寝	

○雨天時

時間	プログラム	実施場所
雨天時の活動もしっかりと御計画ください。		
13:00	入所式	研修室
13:15	入所後ミーティング	
17:30	晴天時と同様 夕食(館内食(野外炊飯))	野外炊飯場
18:30	入浴(19:30まで)	研修室
19:30	キャンプファイア(20:30まで)	
22:00	就寝	

※入浴時間も記入をしてください。

時間	プログラム	実施場所
6:30	起床	食堂
8:00	朝食(館内食(野外炊飯))	
9:00	クイズラリー	食堂
11:30	昼食(館内食(野外炊飯))	
12:30	退所式	営火場B

時間	プログラム	実施場所
6:30	起床	食堂
8:00	朝食(館内食(野外炊飯))	
9:00	焼き板	野外炊飯場
11:30	昼食(館内食(野外炊飯))	食堂
12:30	退所式	研修室

記入例

退所式は12:45までに設定してください。 13:00には完全退所所をお願いします。	各担当者の方の氏名を記入してください。 引率責任者、事務担当者は必ずお書きください。また、事務担当者の方の連絡先も忘れずお書きください(連絡が取れる電話番号)。
7:30～9:00まで 11:30～	
・入浴時間は、16時～21時30分	
・宿泊室は、10時までに退所	

引率者の分担

引率責任者	○○ ○○
事務担当者	○○ ○○
当日連絡先(携帯)	090-1234-5678
食事担当	○○ ○○
会計	代表者の方の宿泊部屋を記入してください。
引率者の宿泊部屋	111

備品借用及び教材購入申請書<記入例>

少年自然の家の備品借用を希望される場合(無料)や学習教材・補食を申込みれる場合(有料)は、この申請書を提出してください。

※※〇〇年〇〇月〇〇日

京都府立るり溪少年自然の家指定管理者
グリーンパルるり溪共同事業体 様

公印又は代表者印を押してください。

団体名 **るり溪小学校**
代表者名 **るり溪 太郎**



備品借用及び教材購入申請書

下記のとおり、備品の借用及び教材の購入を申請します。

各備品の数量には限りがありますので、調整する場合があります。

1. 借用備品

備品名	数	備考	備品名	数	備考
ワイヤレスアンプ	1	カセット付	DVD デッキ		
延長コード	1		プロジェクター		
CD ラジカセ	1		ゼッケン	56	クイズラリー用
電気ポット	2				

2. 学習教材

備品名	数	備考	備品名	数	備考
ペンダント			焼き板用金具セット	56	(雨天時のみ)
キーホルダー			万華鏡		買い取りとなります
焼き板 (大)			塗り箸		万華鏡は、注文後の数量の変更ができません。注文された数量を買い取っていただきます。
焼き板 (小)	56	(雨天時のみ)	温度計		
火おこし体験	セット数: 8 セット 体験人数: 56 人	※セット数には限りがあります。(最大10セット) ※体験料として、1人あたり100円いただきます。			

焼き板は、大小ありますので、サイズをお確かめのうえ申込んでください。

雨天時のみ購入される場合は、備考欄に「雨天時のみ」と記入してください。

パンの種類(クリーム・チョコ・小倉)を記入してください。

3. 補食

ジュース	60 本 (内訳: 児童・生徒 56 本、教員他 4 本)
パン (種類 小倉)	60 個 (内訳: 児童・生徒 56 個、教員他 4 個)

※ 内訳は、学校用です

※ パン 5 個以内、ジュース 5 本以内のキャンセルは、利用当日の 11:00 まで。

※ パン、ジュースの注文・増量は、利用開始日の 10 日前の 17:00 まで。

■書類提出から利用当日まで

- ・提出書類が届きましたら書類内容の確認を行い、不備や不明な点がありましたら少年自然の家より連絡させていただきます。また、申請内容に変更が生じましたら、速やかに御連絡ください。

■御利用のキャンセルについて

(1) 気象警報発令によりキャンセルされた場合

少年自然の家は、気象庁の予報区分において「京都府の南部」、「南丹市」になります。少年自然の家から利用団体へ気象警報発令等の情報提供は行いませんので、団体毎に気象情報等を確認のうえ、実施・中止の判断を行ってください。利用を中止される場合は速やかに御連絡ください。なお、この場合のキャンセル料は不要です。

(2) 利用申請書類一式を提出後に団体の都合で利用をキャンセルされた場合

食費に関しては、下記のキャンセル料が発生しますので予め御承知おきください。

- ・利用開始日の7日前まで → キャンセル料は発生しません。
- ・利用開始日6日前から前日 → キャンセル料 食費×50%×食事申込数+振込手数料
- ・利用開始日の当日 → キャンセル料 全額+振込手数料

利用の計画にあたって

■基本的な生活時間帯について

4月～9月	13:00	16:30	19:00	21:30	22:00	6:00	7:30	9:00	11:30	12:45	
生活の内容	入所・入所式 ・入所ミーティング（打合せ） ・入所手続 ・開校式（団体毎）	係活動 (夏季) 夕食 入浴		活動	就寝準備	消灯・就寝	起床 ・洗面・寝具整理 ・朝の集い・体操 ・清掃活動	朝食	活動	昼食	退所式・退所
		(冬季) 夕食	活動	入浴							
10月～3月	13:00	16:30	19:00	21:30	22:00	6:30	7:30	9:00	11:30	12:45	

■生活の留意事項（生活時間帯に沿って）

(1) 入所

入所時間・・・入所・退所は 13:00 が基本です。昼食は持参してください。

入所式 ・・・団体毎に実施してください。

入所式後

(ア) 入所ミーティング（打合せ）・・・担当の方は事務室へお越しください。

※利用について再度確認します。また、希望される場合は入所式後にスタッフからオリエンテーションを実施することもできます。

(イ) 入所手続き・・・会計担当者の方は、事務室に確定した宿泊人数と食事数をお伝えください。

(2) 食事

①館内食

- ・準備・片付け…「館内食堂の利用について」(P13)を御確認ください。
- ・配膳は食事開始時間の15分前からです。
- ・メニュー…別紙「館内食堂(標準食)メニュー表」、「館内食堂(特別食)メニュー表」を御確認ください。
- ・その他…食事の食堂外への持ち出し及び食堂への飲食物の持ち込みは御遠慮願います。

②野外炊飯

- ・準備、実施、片付け…「野外炊飯について」(P14～)を御確認ください。
- ・メニュー…別紙「野外炊飯メニュー表」を御確認ください。
※食材を持ち込まれる場合は、館内食が利用できませんので御注意ください。

③弁当

- ・鮭弁当、鶏照り弁当、豚ネギ塩弁当の3種類あります。金額は610円です。
- ※11時以降に食堂でお受取りください。

◇食事数等の変更ならびにキャンセルについて

- ・申込書類提出後に食数等の変更があった場合は、電話にて御連絡ください。

「6食以上の食数変更」、「提供内容の変更」	利用開始日の1週間前の17:00まで
「利用当日の <u>昼食</u> 、 <u>弁当</u> の5食以内食数変更」	利用前日の17:00まで
「利用当日(<u>夕食</u>)の5食以内の食数変更」	利用当日の11:00まで
「パン5個以内、ジュース5本以内のキャンセル」	
「パン、ジュースの注文・増量」	利用開始日の10日前の17:00まで

◇アレルギー対応について

※別紙「アレルギー対応について」を御確認ください。

※食物アレルギー対応シートの提出が利用直前の場合は、対応できない場合があります。

(3) 入浴

- ・団体毎の所定の時間内に入浴を済ませてください。
- ・入浴後、洗面器・腰掛けは互い違いに積んでください(衛生上、乾燥させるため)。
- ・ボディソープ、シャンプー&リンスは備えています。アレルギーその他の理由がある場合は各自で御持参ください。

(4) 寝具

- ・室内掲示板のとおりたたみ、押入れに収納してください。…「シーツと寝具について」(P18)を御確認ください。
- ・寝具の汚れ…事務所に必ず御連絡ください。

※洗濯が必要な場合は、洗濯料(毛布・敷き布団 各1枚1,500円、掛け布団1枚2,500円、枕330円)をお支払いいただきます。

(5) シーツ

宿泊される方は全員シーツ(有料)を利用させていただきます(キャンプ場利用で、寝袋を持参される方は除きます)。

①受取り…シーツ室にて担当指導者が手渡してください。シーツの敷き方については「シーツと寝具について」(P18)を御確認ください。

※ハサミでヒモを切り、ヒモは保管箱に入れてください。

②返却…規定通りにたたみ、10枚1組にして2カ所をヒモで縛り、使用済棚へ置いてください。

③2泊3日の場合、シーツは2泊とも同一のものを御使用ください。3泊以上の場合は2泊おきに新しいシーツと取り替えてください。

(6) 清掃

①清掃場所…事前協議会にて決定します。

・共有スペースの清掃もお願いします。

②清掃内容及び人数の目安…「清掃場所と内容について」(P19)を御確認ください。

◇トイレ…清掃後はトイレトーパー(事務室前に設置)と手洗い用消毒液(トイレ清掃用具庫に保管)を補充してください。

◇浴室…足拭きマットは、晴天時は屋外テラスの物干場に、雨天時は浴室付近の長いすやパーテーションに干してください。

③その他

・清掃時に出たゴミは、事務室前のゴミ箱に入れてください。

・可燃物・不燃物を問わず、利用団体の出されたゴミはお持ち帰りください。

(7) 退所

①退所点検…退所日の清掃終了後、「退所点検チェック表」(P20)により担当指導者で確認してください。

②退所日の9:30を目処に、担当指導者ととも職員による最終チェックを行います。

③退所式…プレイホールまたは研修室等にて団体毎に実施してください。

安全管理・省エネについて

①入所した際に、必ず避難経路と非常口の確認をお願いします。

避難経路図は1階→プレイホール前廊下の壁、2階→談話室前廊下の壁に掲示しています。

②現金や貴重品等は、各団体で責任を持って管理してください。各リーダー室と2階宿泊室には金庫がありますので必要であれば御利用ください(鍵は事務室にてお貸しします)。

③宿泊室を離れる際は、窓の施錠・冷暖房のオフ・消灯・戸締まりをお願いします。

④必ず名札を着用してください。

団体で準備されていない場合は、少年自然の家で用意している所定の名札を御利用ください。

⑤不審者および不審車両を発見された場合は、速やかに事務室まで御連絡ください。

⑥浴室の窓は、不必要に開けないでください。

- ⑦夜間・・・消灯、施錠は 22:00 です。消灯後の外出は禁止です。緊急時は事務室の扉にかかっているチャイムを押していただくか、管理人室へ御連絡ください。
- ⑧駐車場内では事故を起こさないよう御注意いただくとともに、アイドリングストップに御協力ください。
- ⑨節電・節水に御協力をお願いします。

健康管理について

- ① 2 団体以上が同宿する場合には、割り当てられた宿泊室内で保健室を設置してください。
- ② 救急薬品及び常備薬等は団体で持参してください。
- ③ 病気・けが等で救急医療を必要と判断される場合は、事務室に御連絡ください。

◇主な近隣医療機関

病院名	住所・所要時間	連絡先
園部病院	南丹市園部町美園町 5 号 8-7 (少年自然の家より車で約 35 分)	TEL 0771-62-0515
京都中部総合医療センター	南丹市八木町八木上野 25 (少年自然の家より車で約 45 分)	TEL 0771-42-2510 (代)

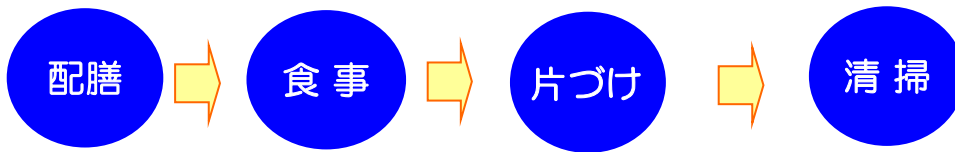
- ④ 少年自然の家の事務所前には A E D (自動体外式除細動器) を設置しています。
- ⑤ 病院搬送用の車は、団体で御用意ください。
- ⑥ 健康保険証のコピーに関する問い合わせは、予め医療機関に御確認ください。

その他

- ① 館内では、必ずスリッパを使用してください。(学校・園の上靴を使用していただいても構いません)
- ② 可燃物・不燃物を問わず、利用団体の出されたゴミはお持ち帰りください。
- ③ 入所当日の弁当ゴミは、専用のビニール袋 (45ℓ・1 袋 60 円) を購入いただければ処分します。
- ④ 館内はすべて禁煙です。本館南側非常口を出た所に喫煙所を設けていますので、指定された場所でお願います。喫煙された場合は、退所前に灰皿の吸い殻を職員通用口横の吸い殻入れに捨ててください。
- ⑤ 少年自然の家は社会教育施設です。酒類の持込、飲酒行為は禁止しています。
- ⑥ 水筒などへのお茶の提供は、食事を注文された方のみ可能です。ただし、お茶の提供は食事時間のみとなります。それ以外の時間は、洗面所の冷水器を使用してください(茶葉はご持参ください)。なお、給湯器は現在使用できませんので、電気ポットの貸出しをしています。
- ⑦ 雨天時の活動内容についても入念に御計画ください。
- ⑧ 火気の使用は、野外炊飯場のかまどやファイア場など指定された所でお願います。
- ⑨ ペット(認定補助犬を除く)の同伴はお断りします。

館内食堂の利用について

<食事の流れ>



■ 配膳準備

食事係の指導者及び児童・生徒等利用者が食事開始時刻15分前から準備します。

内容

1. 食事数の確認
2. 座るところのイスを降ろす。
3. それぞれの席に、おかずプレート、ご飯、汁物、湯茶、箸の配膳
4. 必要に応じて、ドレッシング等の調味料をテーブルに配置



■ 食 事

食事前には必ず手洗い・うがいをしてください。
定刻に食事を開始してください。



数を確認してから
配膳してください。

■ 片 付 け

食事係の指導者及び児童・生徒等利用者が中心となり、テーブル毎に同じ食器類や残飯をかためるなどの工夫をしてください（各自が食器類を持って並ぶのは控えてください）。

食器の返却



- ◇シャワーを流さなくてもよいもの
・・・湯飲み茶碗、汁椀等
- ◇シャワーを流すもの
・・・おかずプレート、ご飯茶碗、お皿等
- ◇汁の残りや食べ残し、残飯等はシャワーとともに流してください。
- ◇ビニールやカップ等はゴミバケツに入れてください。
- ◇お箸、スプーンは返却口のお箸入れ、スプーン入れにそれぞれ入れてください。
- ◇ご飯のおひつ、なべ、やかん、調味料等は、返却口へ返却してください。

■ 清 掃

内容

- 1 台ふきでテーブルの上をきれいに拭いてください。
- 2 テーブルの下の残飯やゴミを拾ってください。
- 3 床がぬれている時は雑巾（事務所前にあります）で乾拭きしてください。
- 4 使った台ふきは食堂の返却口へ、雑巾は事務所前の「洗濯するぞうきん」のバケツに入れてください。



食堂右奥にあります。

野外炊飯について

野外炊飯活動は、少年自然の家キャンプサイトの野外炊飯場にて実施できます。子どもたちが活動する場合は安全確保のためにも指導者は十分な準備のもと実施するようにしてください！

野外炊飯の流れ



準備

メニューを決める

- * 別紙「野外炊飯メニュー表」より選んでください。
- * 食材は食堂ですべて御用意します。持ち込みは御遠慮ください。
(ただし、御利用期間中の全食事を自炊される場合は持ち込みを認める場合があります。)
- * ご飯は食堂で炊くこともできます(必ず「食事数申込書」に記入してください)。
- * 食事数を変更される場合は必ず班分けの変更とともに御連絡ください(変更期限に御注意ください)。

計画を立てる

(1) 所要時間

準備から片づけまで、3時間30分～4時間を見込んで計画してください。

食材受取時間 昼食の場合: 9時～9時半 夕食の場合: 14時半～15時が基本です。

* 上記以外の時間を希望される場合はご相談ください。

(2) 準備物

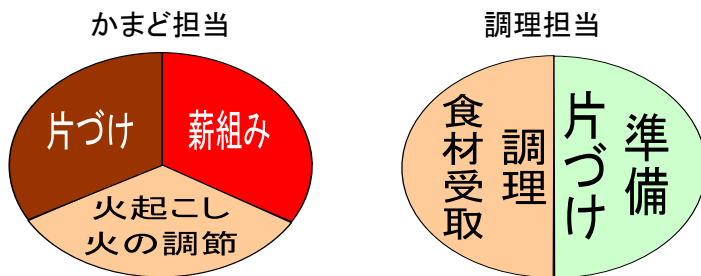
各団体で準備するもの	おはし・軍手(綿100%)・新聞紙・マッチ・ライター・炭(必要な場合)
------------	-------------------------------------

※食材を提供する・しないに関わらず、上記のものは少年自然の家から提供できませんので、必要に応じて各団体で準備してください。

	少年自然の家で食材を提供する場合	食材を持ち込まれる場合
食材の管理について	グループ毎に仕分けした食材を提供します。	各団体で管理してください。
貸出しできる備品 消耗品	飯ごう・鍋・フライパン・やかん・七輪・網・鉄板・トング・コテ・包丁・まな板・ピーラー(皮むき器)・ボール・ザル・角盆(アルミ)・鍋敷き・ちゃわん・カレー皿・コップ・丸皿・スプーン・しゃもじ・おたま・ゴミバケツ・火ばさみ・十能・スコップ・ほうき・ちりとり・ペール缶・バケツ・一輪車 * 包丁は、事務所で貸し出します。 * 七輪は、1台で約6名が利用できます。 炭の量は、1台で2kgを目安にしてください。 * 薪は、別途購入が必要です。	
	ハンドソープ・洗剤・ふきん・台ふき・たわし(スポンジ・亀の子・スチール)スチールウールタワシ・ゴミ袋	左記のものは、全て各団体で御用意ください。
ゴミの処理	生ゴミと燃えるゴミは、少年自然の家で処分します。	全てお持ち帰りください。

※ふきんや台ふきなどの消耗品については、必要に応じて御持参ください。

(3) 作業内容の確認と役割分担
大きく分けて以下の作業が考えられます。



野外炊飯場について

(1) かまど 固定式かまどが屋根の下と屋外にあります。



固定式かまど(屋根下):
屋根の下に16基のかまど
を設置しています。



固定式かまど(外):
屋根のない場所に16基のかまど
を設置しています。

(2) 調理・食事の場所



調理台:
食材を切る等の調理作業
の調理台を設置していま
す。



食事席:
約120名が利用できるテーブ
ルと長いすを設置しています。

(3) トイレ・薪小屋



トイレ:
使用された後は、清掃を
お願いします。



薪小屋:
食事席の奥にある薪小屋に
炊飯用の薪(大・小)を設置し
ています。
大小の薪各1束で、かまど約2
つ分の火力があります。

(4) プレハブ倉庫(食器・調理器具庫)



プレハブ倉庫外観



プレハブ倉庫内:
食器・調理器具等は念のため洗ってか
ら使用してください。
鍋は蓋や取っ手が別々に収納してい
るものがあります。



ゴミ箱:
このバケツは、ゴミ袋(黒:生ゴミ用、白:燃えるゴミ用)を内側に設置しゴミ箱としてお使い
ください(バケツは洗って返してください)。



七輪:
焼き肉をされる場合、七輪の使用も
可能です。ただし、炭は各団体で御
用意ください。

実施

食材を取りに行く

- * 食材は、食堂の裏口で受け取ってください。
- * 食材は、班毎にカゴに入れた状態でお渡ししますので、受け取りの際には、班の人数を知らせてください。



調理

調理の際の注意点

- * かまどと洗い場の間は混み合いますので、注意してください。
- * 調理台やかまどの周りは、整理整頓をして使いましょう。

ゴミ袋について 黒い袋・・・生ゴミ用
白い袋・・・燃えるゴミ用（ビニール、ラップ等も含む）

食事

- * 食事前には必ず手洗い、うがいをしてください。
- * お茶は食堂にて提供しますので、プレハブ倉庫から必要数のやかんを持って行ってください。

片づけ

基本的に使う前の状態にしていただきます。
ただし、食器、調理器具については職員の点検を受けてから収納してください。

- * 残飯は黒いゴミ袋(生ゴミ用)に入れてください。
- * 食材の入っていたカゴは、食堂の裏口に返却してください。

清掃ポイント



流し：
洗い場の排水溝に溜まった生ゴミ等もきれいに取り除いてください。



生ゴミを捨てる場所：
黒い袋(生ゴミ用)は、食堂裏のポリバケツの中に入れてください。



灰を捨てる場所：
かまどに残った灰等は、残灰置き場へ運んでください。
(絶対にかまどには水をかけない！)



燃えるゴミを捨てる場所：
白い袋(燃えるゴミ用)は、食堂裏の燃えるゴミ箱に入れてください。

- * トイレを使用された後は、清掃をお願いします。

点検

最後に職員が点検します。以下の点に注意してください。

(1)食器類の点検	ア 鍋や飯ごうにススや米粒等が付いてないか？ イ 食器類等に汚れが残ってないか？ ウ 食器や鍋等がふきんで拭けているか？
(2)かまどの点検	灰をほうきで掃き出してあるか？
(3)洗いの点検	排水溝に残飯等が残ってないか？
(4)食事席の点検	ゴミが落ちてないか？ テーブルをきれいに拭いているか？

※食器類は、職員の点検の後収納してください。

(実施例：グループごとに職員に見せ、OKであれば倉庫にしまう。)

実施前の最終確認

野外炊飯チェックシート

項 目	チェック
食器類・調理器具類の置いてある場所は？	
食材を受け取る場所は？	
食材を受け取る時間は？	
灰を捨てる場所は？	
ゴミを捨てる場所は？	
ゴミ袋、白い袋と黒い袋とはゴミをどう分けるのか？	
団体に持ってくるものは？	
食事数の変更はいつまでに連絡すればいいか？	

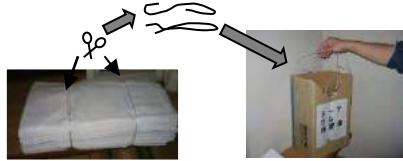
シーツと寝具について

■シーツの受取りと返却

シーツは、シーツ室にあります。担当指導者が必要な枚数を手渡ししてください。

(受け取り)

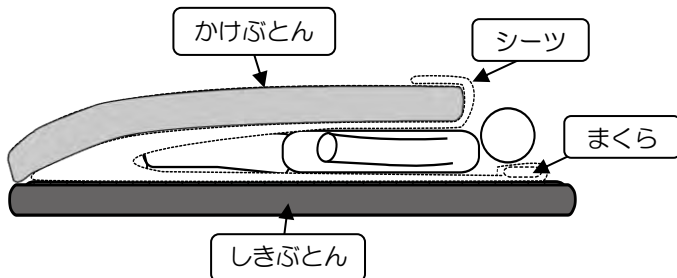
ひもをはさみで切り、ひもは保管箱に入れてシーツのみ手渡ししてください。



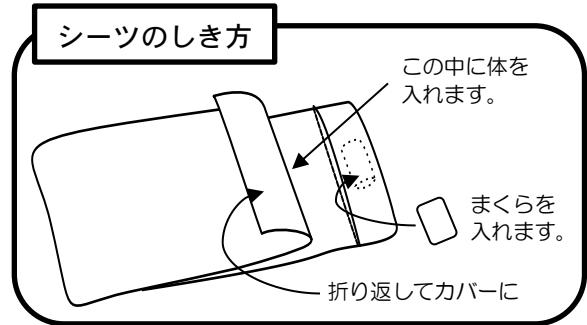
(返却)

保管箱のひもを使い、シーツを10枚1組にし、2カ所で縛り、使用済棚へ置いてください。

■シーツとふとんのしき方

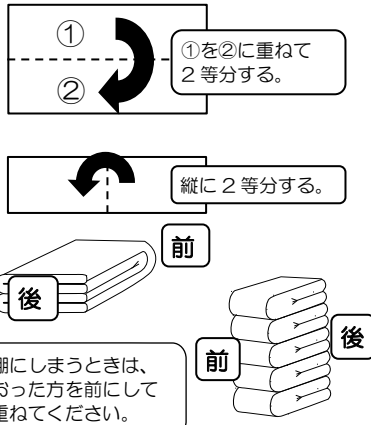


※必要な場合は毛布も御使用ください。



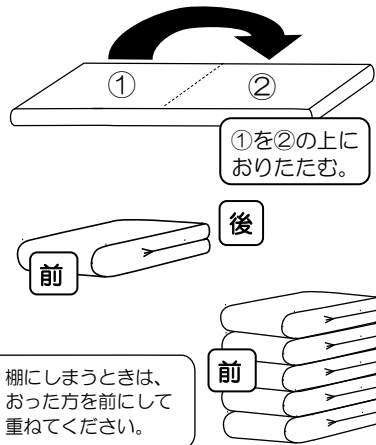
■寝具類のたたみ方

かけぶとんのたたみ方



棚にしまうときは、おった方を前にして重ねてください。

しきぶとんのたたみ方



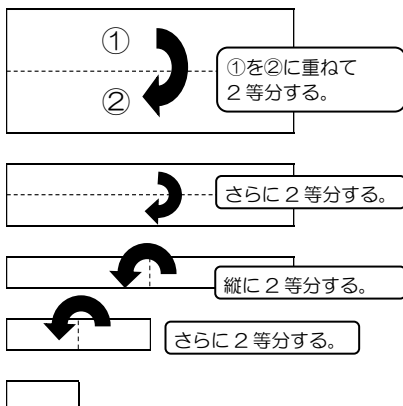
棚にしまうときは、おった方を前にして重ねてください。



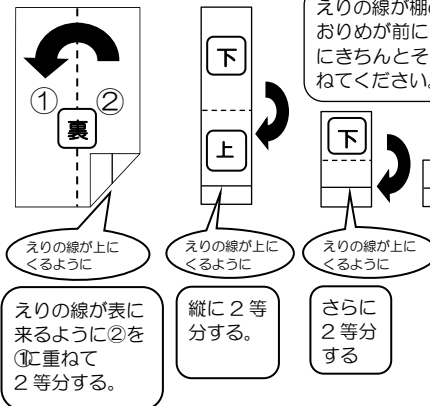
かけぶとんの縦のおりめは、右側にくるようにおいてください。

棚にしまうときは、おりめが前にくるようにきちんとそろえて重ねてください。

シーツのたたみ方



毛布のたたみ方



えりの線が棚の奥に、おりめが前にくるようにきちんとそろえて重ねてください。

まくら 8個 毛布 8枚 まくら 7個 毛布 7枚



1階

えりの線が奥、おりめが前、横のおりめが右側、ヒラヒラが左側にくるようにきちんとそろえて重ねてください。

まくら 5個 毛布 5枚 まくら 5個 毛布 5枚



2階

清掃場所と内容について

	場 所	標準人数	内 容
1	宿泊室	5	○たたみの上をほうきではく。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。 ○荷物入れの中をぞうきんでふく。 ○ベランダのゴミを拾い、はき物をそろえる。
2	宿泊室前の廊下 ①1階 ②2階	各3	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ※延長コードを使用してください。
3	階 段 ①階段1 ②階段2	各2	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ※延長コードを使用してください。 ○階段の手すりをぞうきんでふく。
4	洗面所 ①1階 ②2階	各4	○棚、鏡などをふき、流し台をスポンジで洗う。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。
5	便 所 ①1階 ②2階 ③玄関	各4	○床を洗う。 ○便器を洗う。 ○手洗い場の鏡をふく。 ○汚物を捨てる。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。 ○消毒せっけん液を補充する。 ○トイレットペーパーを補充する。
6	玄関ホール	6	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ○下足箱を整理する。
7	玄関ポーチ、玄関土間 テラス ①テラス1 ②テラス2	8	○ゴミを拾う。 ○マットのよごれを取り除く。 ○ほうきではく。 ○土間用そうじ機で土間のゴミを吸い取る。
8	資料コーナー	4	○そうじ機でゴミを吸い取る。 ○机や展示ケースなどをふく。 ○備品(いすなど)をそろえる。
9	プレイホール	8	○モップ又はほうきでゴミを集め、捨てる。
10	研修室	6	○モップ又はほうきでゴミを集め、捨てる。
11	クラフト棟	8	○机とイスをふく。○そうじ機でゴミを吸い取る。 ○(使用した場合)流し台をスポンジで洗う。 ○渡りろうかをほうきではく。
12	談話室	4	○机とイスをふく。○そうじ機でゴミを吸い取る。 ○ベランダのゴミを拾い、はき物をそろえる。
13	浴 室 ①浴室1 ②浴室2	各4	○洗い場をブラシでこする。 ○洗面おけ、腰掛けいすを洗って整とんする。 ○脱衣場をほうきではく。 ○脱衣場、ボックスのぞうきんがけをする。 ○足ふきマットをほす(退所前に入れる)。 ○ゴミ箱のゴミを捨てる。
14	食堂	食事係	○最後の食事後、床のそうじをする。
15	食堂前の廊下	4	○そうじ機をかける。 ○流し台を洗う。
16	営火場 ①営火場A ②営火場B	2	○残灰をペール缶に集めて、残灰置き場に捨てる。 ○営火場周辺のゴミを拾う。
17	キャンプ場 (テント泊のみ)	全員	○テントサイト、野外炊飯場、便所を清掃する。 ○キャンプ場周辺のゴミ拾いをする。

退所点検チェック表

宿 泊 室

No	項 目	チェック
1	寝具は規定数ありますか。	
2	寝具は規定通りたたんで収納されていますか。	
3	ベランダのスリッパはきちんと整頓されていますか。	
4	清掃用具は規定数(ほうき3, ちりとり2)ありますか。	
5	畳、荷物入れがきれいになっていますか。	
6	ゴミ箱のゴミが捨ててありますか。	
7	忘れ物はありませんか。	
8	窓は施錠できていますか(カーテンは開いていますか)。	
9	冷暖房のスイッチは切れていますか。	

ト イ レ (退所前に再点検)

No	項 目	チェック
1	便器がきれいになっていますか。	
2	トイレットペーパーは補充されていますか。	
3	消毒せっけん液は補充されていますか。	
4	汚物が除去されていますか(袋が補充されていますか)。	
5	清掃用具は整頓されていますか。	
6	ゴミ箱のゴミが捨ててありますか。	
7	スリッパがきちんと整頓されていますか。	

浴 室

No	項 目	チェック
1	窓は開けてありますか。	
2	洗面おけ、腰掛けいすはきちんと並べてありますか。	
3	忘れ物はありませんか。	
4	足拭きマットはテラス(雨天時は浴室前長いす・パーテーション)に干してありますか。	
5	清掃用具は整頓されていますか。	

指導者による点検終了後、職員から最終点検を受けてください。不十分な箇所はやり直し、再度職員の点検を受けてください。「来たときよりも美しく」、御協力のほどお願いします！

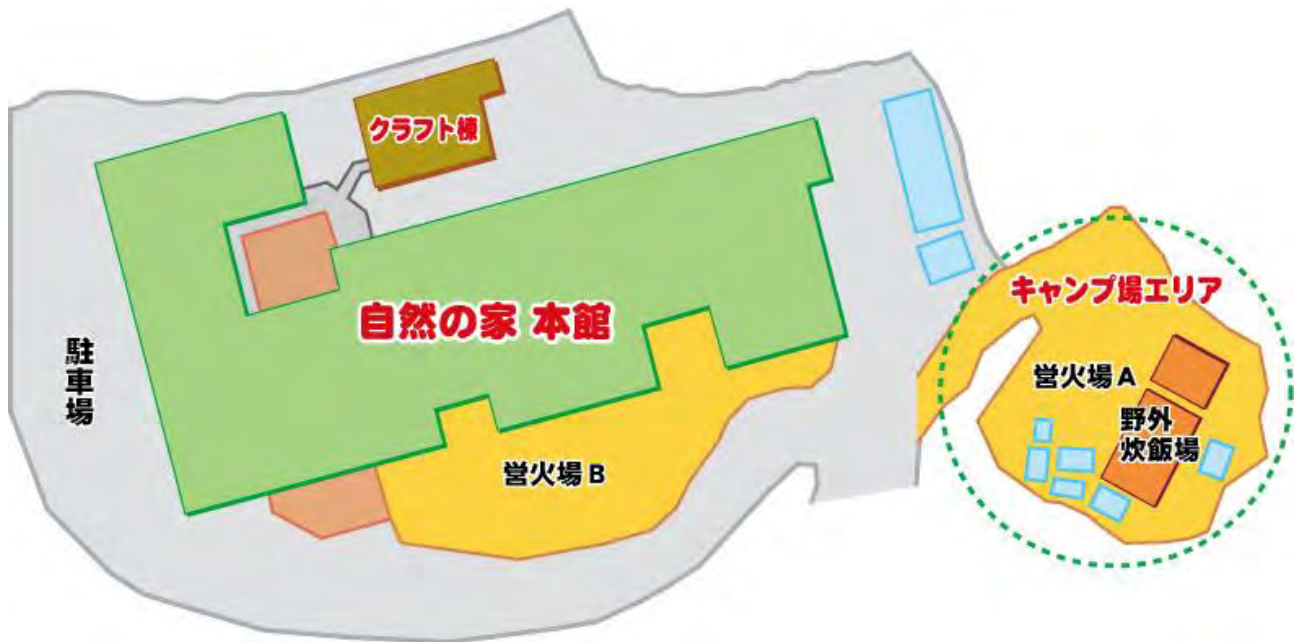
京都府立るり溪少年自然の家（グリーンパルるり溪） 利用料金表

区 分	経 費 内 訳						備 考
使 用 料	■宿泊利用						テント泊の御利用でも、風呂・食堂等を利用される場合は、館内泊扱いとなります。
		小・中学生	高校生	大学生・一般			
	館内泊	300円	510円	1,020円			
	テント泊	200円	350円	710円			
	■日帰り利用						
	プレイホール	2,550円					
	研修室、クラフト室	2,040円					
シーツ代	1人あたり150円（2泊まで）						
食 事	朝 食	昼 食	夕 食	合 計			弁当 610円 特別食：要相談
	360円	470円	580円	1,410円			
冷 暖 房		暖房費	冷房費	備 考			宿 泊 室 時 間 区 分 14:00～22:00 22:00～6:00 6:00～14:00
	宿泊室	960円	490円	1室8時間			
	プレイホール	760円	700円	1時間単価			
	研修室	540円	480円				
	談話室	240円	120円				
	クラフト室	540円	480円				
プログラム クラフト 材料	ペンタント	キーホルダー	焼き板 (大)	焼き板 (小)	万華鏡	塗り箸	
	50円	100円	300円	150円	230円	300円	
	*焼き板用金具セット（ヒートン、ヒモ）：1人あたり30円						
	*焼き板サイズ：大240mm×540mm、小115mm×185mm						
	*万華鏡は買取りになります。注文後の数の変更はできません。						
	*火おこし体験料：1人あたり100円（消耗品費等）						
薪 ろうそく	キャンプファイ用 薪		野外炊飯用 薪		ろうそく 1本		
			大	小	大	小	
	650円		550円	400円	10円	5円	
*キャンプファイ用の灯油は、1缶あたり100円です。							
パ ン ジュース	パ ン（クリーム、チョコ、小倉）				130円		
	ジュース（オレンジ 245g）				80円		
生ゴミ用袋	1枚60円（45ℓ）						

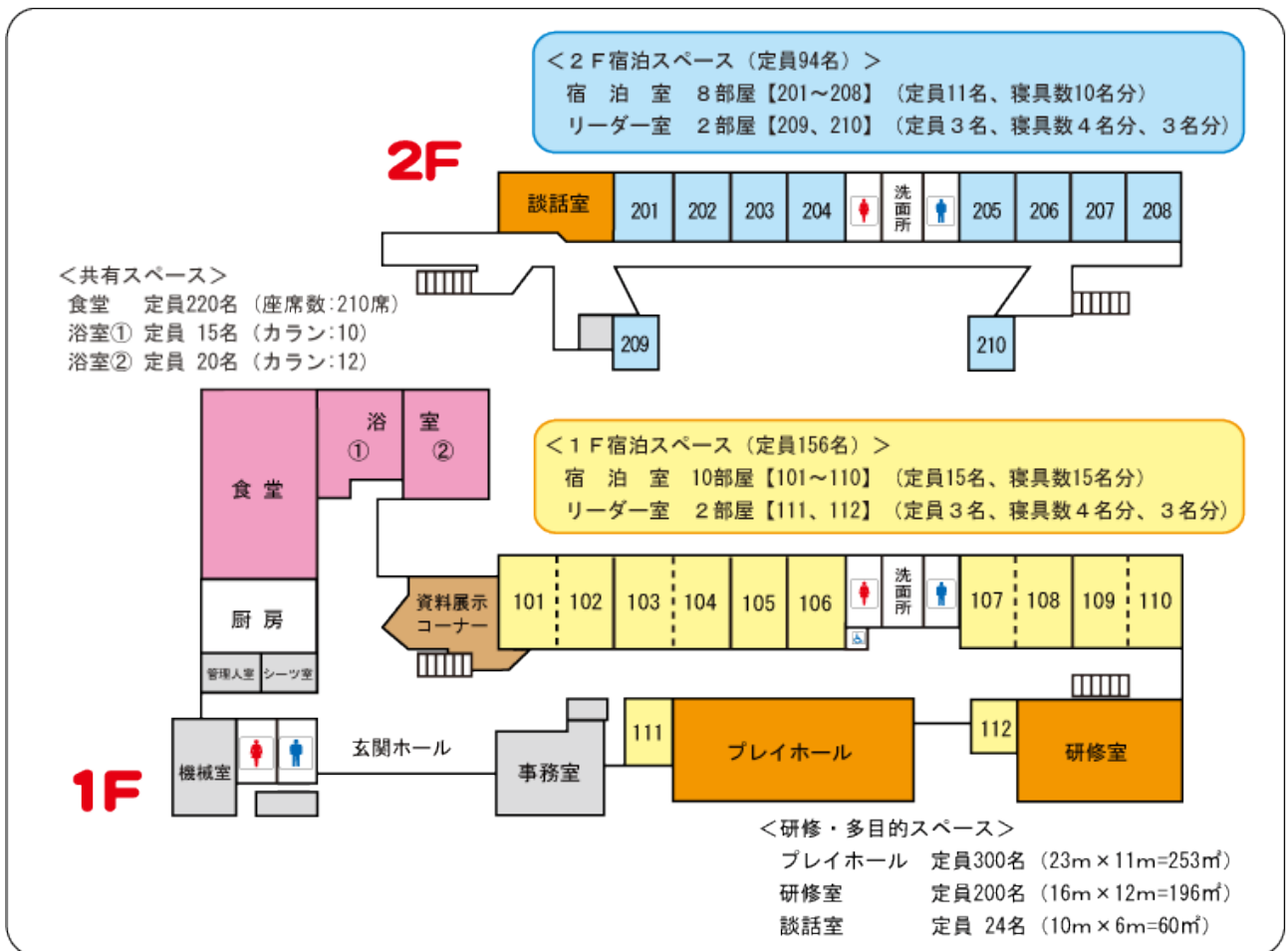
※消費税率引き上げ等により、令和元年10月1日より上記のとおり使用料等を改定

施設平面図

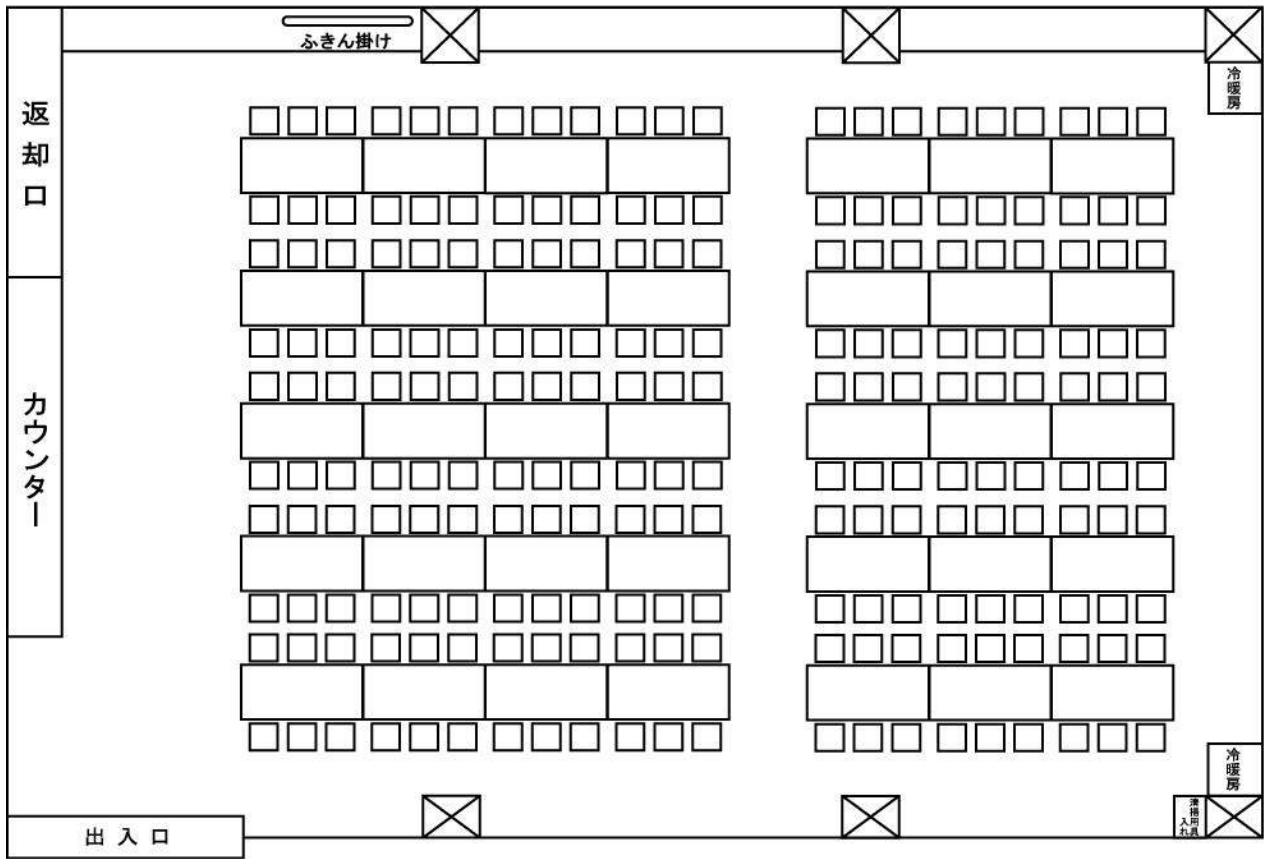
■ 全体図



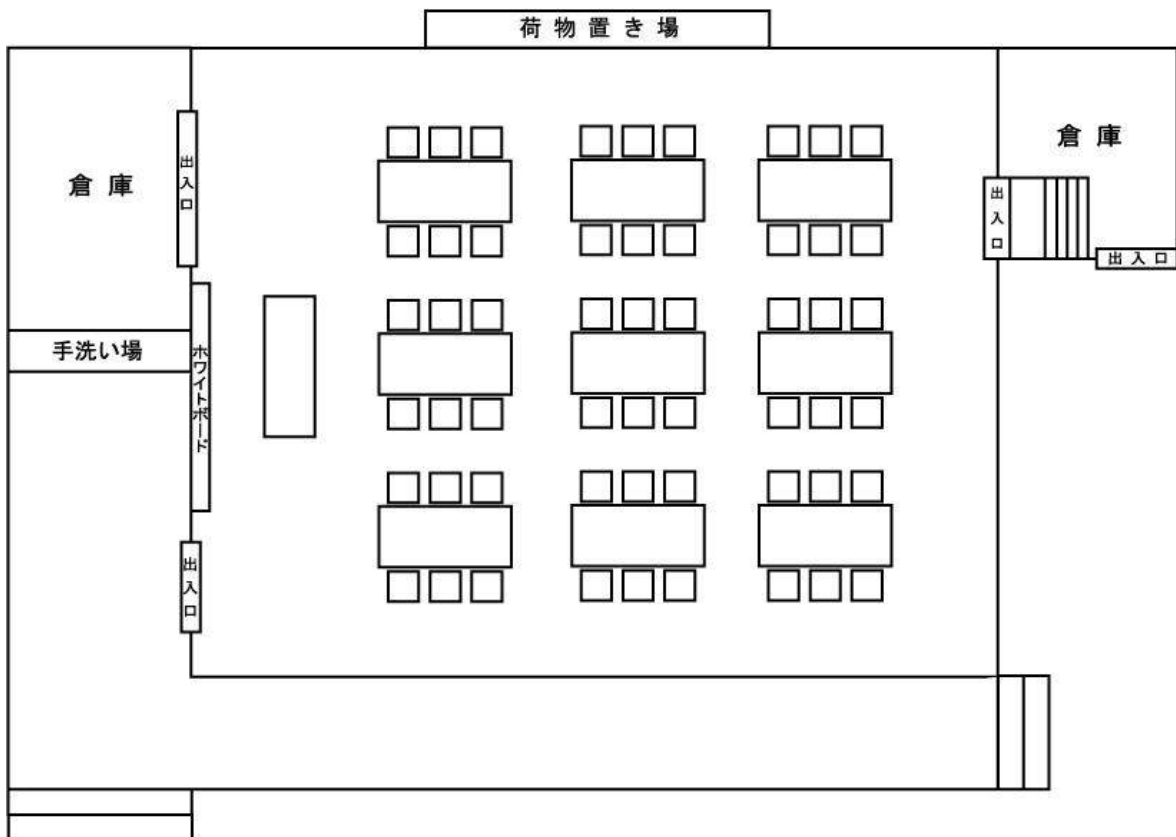
■ 館内図



■ 食堂 平面図



■ クラフト棟 平面図



府民利用施設等木質化事業の取組みについて

少年自然の家では、平成 28 年度より「豊かな森を育てる府民税」を活用し、京都府産木材を使用した木製品を導入する府民利用施設等木質化事業に取り組んでいます。

自然を学ぶ一環として、利用者の皆様に木の温もりや質感等を感じていただき、より京都の森林に親しみを持っていただければ幸いです。

利用者の皆様の手に触れる機会が多く、かつ使い勝手の良い木製品を設置しておりますので、ぜひご活用ください。

◆平成 30 年度 導入

導入製品：荷物（収納）棚 大 3 台、小 2 台



- ・入退所時の荷物置き場がなく、以前より「入退所時に荷物を置いておける場所を確保してほしい」という要望をいただいていたため、玄関入り口前ポーチと 1 階廊下に荷物（収納）棚を設置しました。
- ・置ける数に限りはありますが、入所時は玄関入り口前ポーチの荷物（収納）棚を、退所時は 1 階廊下の荷物（収納）棚をご活用ください。

◆平成 29 年度 導入

導入製品：雑誌ラック 大 1 台、小 2 台



- ・利用者の目に触れる機会が多い、事務室入り口横と資料展示コーナーに雑誌ラックを設置しました。
- ・事務室入り口横のラックには京都府関連のパンフレット・チラシ・公共施設のイベント情報等を、資料展示コーナーの雑誌ラックには森や木、自然に関する本を設置しています。

◆平成 28 年度 導入

導入製品：野外炊飯場用 テーブル 25 台、イス 50 脚



- ・利用者の使用頻度が多い、野外炊飯場のテーブルとイスを更新しました。

京都府立るり溪少年自然の家 使用上の注意事項

1. 次のいずれかに該当し使用を不相当と認めるときは、使用の承認をしないことがある。
 - (1) 公の秩序または善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
 - (2) 施設をき損するおそれがあると認めるとき。
 - (3) 施設の管理上支障があると認めるとき。

2. 施設の管理上必要があると認めるときは、使用の承認に条件を付すことがある。

3. 次のいずれかに該当するときは、使用の承認を取り消し、使用を制限し、もしくは停止させることがある。
 - (1) 承認を受けた者が、京都府立少年自然の家条例及び京都府立少年自然の家条例施行規則の規定に違反したとき。
 - (2) 使用者が、使用の承認の内容またはこれに付された条件に違反したとき。
 - (3) その他施設の管理上やむをえない理由があると認めるとき。

4. 「京都府公の施設等におけるヘイトスピーチ防止のための使用手続に関するガイドライン」による「不当な差別的言動」を行わないこととする。この条件に違反することが、客観的な事実を照らし、具体的に明らかに予測される場合は、承認を取り消すことがある。

プログラム資料

クラフト制作について

自然の家での活動を計画する際に、雨天時の活動を想定することも必要です。クラフト制作はそうした活動を補い、自然の家での記念になるプログラムとしても好評です。作業は比較的簡単ですので、時間の都合で取組みができなくても持ち帰って完成させることもできます。



焼板

炊飯場のかまどで薪を燃やしながら焼くこともできます！

作品例	自然の家で準備しているもの	団体に準備するもの
 <p>焼き板用金具セット（ヒートン・ヒモ@30円）の提供もできます。</p>	 <p>杉板・バーナー・ブラシ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○塗料（ペイントックス・ホスナ等） ○新聞紙（ぼろ布） ○ひも ○金具 ○軍手 等

キーホルダー・ペンダント

着色が中心の作業です。良き思い出の一品に！

作品例	自然の家で準備しているもの	団体に準備するもの
	 <p>ねじき（木）・ヒートン（金具） キーホルダー・ひも・きり・ペンチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○塗料（ペイントックス・ホスナ等） ○紙やすり ○軍手 ○新聞紙 等

万華鏡

自然素材を中に加えればオリジナル万華鏡のできあがり！

作品例	自然の家で準備しているもの	団体に準備するもの
	 <p>はさみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○のり ○セロテープ ○マジック ○色鉛筆 ○折り紙 等

塗り箸

4層に塗られた漆を磨きながら、貝や模様を出す伝統クラフトです！

作品例	自然の家で準備しているもの	団体に準備するもの
	 <p>塗り箸・箸袋・砥石・耐水ペーパー コンパウンド・洗面器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ぞうきん

キャンプファイア・キャンドルファイアについて

■キャンプファイア

少年自然の家には、2箇所の営火場があります。

「事前協議会」で指定された営火場を御使用ください。

営火場A . . . キャンプ場

営火場B . . . 玄関横

[営火場A]



[営火場B]



(1) 準備（トーチ棒は、事前に各団体で御用意ください。）

◇営火場中心部にあるコンクリート部分に、ファイア用薪を井桁に組み、上部に野外炊飯用薪（小）と新聞紙で点火口を作ります。薪の量は、人数や時間によって変わりますので、御相談ください。

◇天候が危ぶまれるときは、ブルーシートを貸出します。

◇念のため防火用バケツを用意してください。

◇ファイア用の火ばさみ、十能、スコップ、バケツ、灯油（1缶100円）が必要な場合は、事務室に御連絡ください。

(2) 実施

◇安全には十分気をつけて実施してください。

(3) 片づけ

◇ファイアには水をかけず、残り火を小さくまとめドラム缶の半切りをかぶせて朝まで燃やし続けます。

※強風等荒天の場合の処置については、職員が連絡します。

◇朝の清掃時、残灰をペール缶に入れ、残灰置場に捨てます。

◇御使用になられた用具を元の位置にお返してください。

◇灯油缶を事務室にお返してください。

■キャンドルファイア

プレイホール・研修室でキャンドルファイアの活動が可能です。

(1) 準備

◇プレイホール・研修室の中心部に防火安全マットと大燭台を設置します。



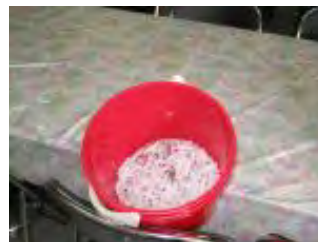
◇大燭台に必要な数の大ローソク（1本10円）を立てます。



◇小燭台（手持ち用、小ローソク1本5円）を御使用になる場合は、必要数用意します。



◇使用済みローソクを入れるバケツを用意します。



◇大燭台・安全マットは、プレイホール・研修室にそれぞれ置いてあります。
ローソク（大・小）、手燭台、バケツは事務室で準備しています。

(2) 実施

◇安全には十分気をつけて実施してください。

(3) 片づけ

◇大・手燭台のローソクを消し、バケツに廃棄してください。

◇大燭台・安全マットをプレイホール・研修室の元の位置に片付けてください。

◇御使用になられた大・小ローソクの本数を御確認の上、手燭台、ローソク、バケツを事務室にお返しくください。

キャンプファイアの活動例

家庭や家族を離れて宿泊する集団生活の中では、楽しい思い出として印象に残るのが、何といても夜空一面に星がふりそそぐ下でのキャンプファイアです。

1 キャンプファイアの役割

(1) 営火長(ファイアチーフ)

キャンプファイア全般の責任を持ち、はじめの言葉や終わりの言葉を担当します。

(2) 司会者(エールマスター)

キャンプファイアをプログラムに沿って進め、歌やゲームのリードをするとともに、全体の雰囲気を知り、盛り上げることに努めることが大切です。

(3) 営火係(ファイアキーパー)

キャンプファイアをプログラムに合わせて、火の調整を行います。

(4) 火の使者(トーチランナー)

トーチを持って入場します。

2 準備物(☆印は自然の家で用意できる物、○印は団体で用意する物)

☆ 薪(必要な束数は時間や人数によって変わります。職員に御相談ください。)

☆ 灯油 ☆ ペール缶 ☆ 火ばさみ ☆ 十能 ☆ ほうき ☆ ちりとり ☆ スコップ

☆ バケツ ☆ 一輪車 ☆ ワイヤレスアンプ(テープ使用可)・マイクまたはハンドマイク

☆ 延長コード ☆ CDラジカセ

○ 新聞紙 ○ マッチ ○ トーチ棒(必要分) ○ その他団体で必要な物

3 火床の組み方

必要に応じて助言させていただきますので、職員に御相談ください。

4 キャンプファイアの進め方

(1) 整列し、全員に心がまえ等の約束ごとをします。

(2) 司会者の合図により入場し、火床を中心に円陣をつくります。

(3) 歌(「遠き山に日は落ちて」「夕焼け小焼け」など)

(4) 火の使者を先頭に係員が入場し、トーチに火を付けサークル内を一周して点火口の前に整列します。

(5) 営火長のはじめの言葉

(6) 点 火

(7) 全員で合唱(「燃えろよ燃えろ」など)

(8) グループの演技

歌、ゲーム、フォークダンスやスタンツなど、誰でも知っているものや、全員でできるものを取り入れるよう工夫します。ユーモアに富んだ演出が効果的です。

(9) 営火長の終わりの言葉(最後を引き締め印象的に)

(10) 静かな歌を全員で合唱(「一日の終わり」「今日の日はさようなら」など)

(11) 退 場

5 指導上の留意点

(1) キャンプファイアのはじめと終わりの儀式的な部分は、静かな雰囲気の中で行います。

(2) プログラムは長すぎず、グループ全体が参加できるよう心がけます。

(3) 小道具や衣装は、あり合わせのものを工夫して利用します。

(4) 暗がりの中でも周囲を整とんし、安全を確保します。

(5) 終了後は、残り火に水をかけずに炭を真ん中に寄せ、ドラム缶の半切りをかぶせます。

(6) 翌朝、残灰を捨てファイア場の清掃を行います。

[参 考]

『はじめの言葉』

赤く染まった太陽が、るり溪の山並みに沈んでいくと、今までさえずっていた小鳥たちも遠くの山々にねぐらを求めて帰って行き、ここ少年自然の家もすっかりと夜のとばりに包まれました。

友だちと仲良く、力を合わせて、きびしい中にもやさしい先生の指導のもと楽しく充実した毎日を送っている皆さん、今この闇の中に灯された火を静かに見つめてください。

火は人間に与えられた宝物であり、今日の文明も火によって築られました。

第1に……赤々と燃えるこの火は情熱の根源です。

第2に……暖かさと明るさを与えてくれる火は愛情の根源です。

第3に……闇の中の灯は人の進むべき道しるべの役を果たします。

どんな苦しみにも打ち勝つ情熱をもち、人を愛し、自己を完成し、人の進むべき道を示すことができる人間になってほしいと願っています。

聖なるこの火のもと、今宵楽しく過ごそうではありませんか。

『終わりの言葉』

この少年自然の家での生活を通じて、皆さんはたくさんの友だちを得たことでしょう。

汗を流した野外での活動、背中を流し合った浴室、同じ食事を取り、一つの部屋で生活した友だち。

「人生とは出逢いであり、その出逢いは限られた人にしかめぐって来ない。また、それは二度と繰り返されることはない。」という言葉があります。

今日の日の出逢いを大切にして、これからもお互いに励まし合ってください。

また、「友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする」と言われています。

1本のトーチの火は小さいけれども、暗闇を明るく照らすことができました。ファイアの火は消えても、心の中にはいつまでも心のともしびを燃やし続けてください。

そして悲しいとき、うれしいとき、さみしいときは、この火と一緒に生活した仲間を思い出して力強く生き抜いてください。

キャンドルファイアの活動例

1 キャンドルファイアのねらい

- (1) 参加者の心をゆさぶり、深い印象と感激を与え感性を豊かにする集いです。
- (2) 火の暖かさを中心に連帯感、協調性、団結心を養う集いです。

2 キャンドルファイアの役割

- (1) 火の神……キャンドルファイアの責任者、はじめの言葉、終わりの言葉を担当します。
- (2) 神の子……聖火の入場と点火、分火を担当します。(4名程度)
- (3) 司会者……全体の進行、歌やゲームのリードをするとともに雰囲気をつくります。

3 準備物(☆印は自然の家で用意できる物)

- ☆ 中央燭台 ☆ 安全マット ☆ 中央燭台用のロウソク(大) ☆ 手燭台…人数分
- ☆ 手燭台用のロウソク(小) ☆ CDラジカセ ☆ 延長コード
- ☆ ワイヤレスアンプ(テープ使用可)・マイクまたはハンドマイク
- その他各団体で必要な物

4 キャンドルファイアの進め方

【第Ⅰ部 儀式の火(静粛に)】

- (1) 静かに全員入場し、中央燭台を中心に円く囲んで立ちます。
- (2) 歌(「遠き山に日は落ちて」「夕焼け小焼け」「一日の終わり」など)
(はじめは歌詞で、続いてハミングで、聖火が入場し場内を一周し終わるまで続けます。)
- (3) 聖火入場
(2)のハミングの中を、聖火を先頭に火の神、神の子が入場してサークル内を一周し、神の子は、火の神と向かい合って整列します。
- (4) 聖火を持った神の子の先導者は、聖火を火の神に渡します。
- (5) 火の神の言葉(聖火を持ったまま)
- (6) 火の神の聖火から神の子のキャンドルに点火します。
- (7) 点 火
神の子は、中央燭台のキャンドルの上(中央側)から点火していきます。
- (8) 分 火
中央燭台に点火した神の子は、サークルの四隅へ移動して両隣の人に分火し、順々に火を移していきます。
- (9) 歌(「燃えろよ燃えろ」「ふるさと」など)
全員のキャンドルに分火し終わったら歌う。歌い終われば室内灯を点火し、各自のキャンドルを消します。

【第Ⅱ部 交歓の集い(愉快地に楽しく)】

- (1) 各班のスタンツの発表
- (2) 歌、ゲーム、フォークダンスなど、誰でも知っているものや全体でできるものを取り入れる。
- (3) 退 場
ハミングの続く中を火の神を先頭に静かに退場し、全員が退場すればキャンドルを回収します。

5 指導上の留意点

- (1) プログラムは長すぎず、グループ全体が参加できるよう心がけます。
- (2) 小道具や衣装は、あり合わせのものを工夫して利用します。
- (3) 児童・生徒の発達段階を考慮し、創意工夫を引き出せるようにします。
- (4) キャンドルのろうを床に落とさないようにします。

クイズラリーマップ

■標準コース (90分)



スタート:	時	分
ゴール:	時	分
所要時間 ()	分

チェックカード

班 名 前

■最短コース (20分)

スタート → ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ → ⑧ → ⑨ → ⑩ → ⑪ → ⑫ → ⑬ → ⑭ → ⑮ → ⑯ → ⑰ → ⑱ → ⑳ → ゴール

■中級コース (50分)

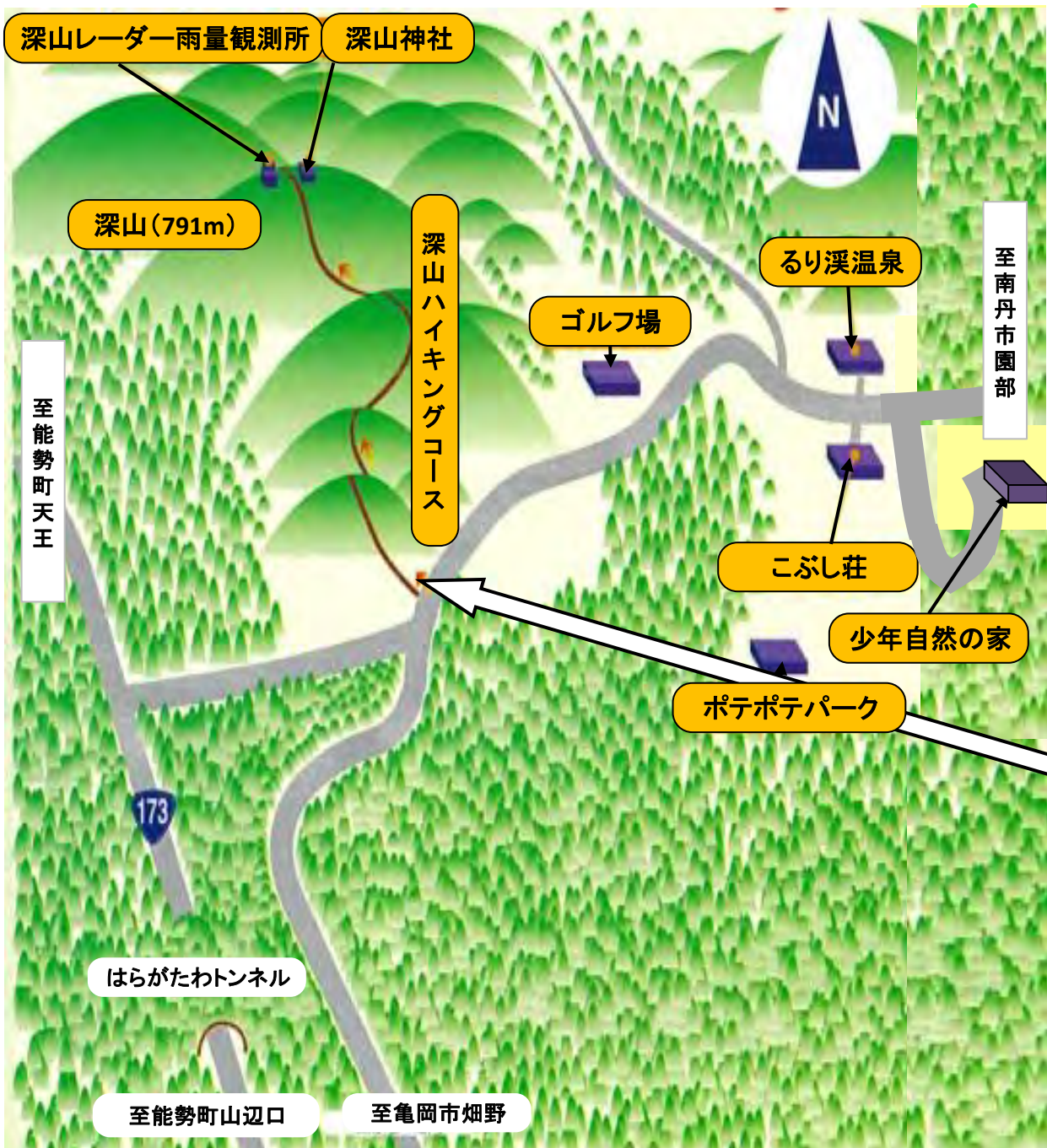
スタート → ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ → ⑧ → ⑨ → ⑩ → ⑪ → ⑫ → ⑬ → ⑭ → ⑮ → ⑯ → ⑰ → ⑱ → ⑳ → ゴール

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

深山ハイキングコース案内

深山は、三府県にまたがる山脈の最深部の山であり、山名の由来もここから来ています。北摂最高峰の深山は標高約791m、山頂には深山レーダー雨量観測所と深山神社の鳥居があり、石塚が祀られています。

深山ハイキングコースは入口から山頂まで約3km。登山道を歩き熊笹の茂る高原に出ると山頂が見えてきます。山頂には立木がないため、360度の大絶景を楽しむことができ、園部市街地や天気の良い日には大阪湾まで眺めることができます。





深山レーダー雨量観測所



深山神社



深山山頂



ピーク付近からり溪方面を望む

【登山ルート】
 少年自然の家 → 約1.5km → ハイキングコース起点 → 約2.4km → 深山山頂
 (少年自然の家から山頂までの所要時間: 約2時間 距離: 約3.9km)



ハイキングコース起点

京都府立るり溪少年自然の家 アクセスマップ 2019. 3. 1 現在



◆2018年に発生した7月豪雨ならびに台風21号とその後の大雨の影響で、自然の家の周辺道路が一部片側交互通行となっている箇所がありますので、来所時は事前にルートをご確認のうえお越しください。

◆自家用車、貸切バスでおこしの場合

- ★ 京都縦貫道 千代川 IC より 18 km (お車で約 30 分)
- ★ JR 園部駅より 18 km (お車で約 30 分)
 - ※ 土日祝日のみ路線バスあり
- ★ 中国道 池田 IC より 32 km (お車で約 50 分)
- ★ 舞鶴若狭道 南篠山口 IC より 27 km (お車で約 40 分)



こちらのマークは、京都府立るり溪少年自然の所章です。全体は、少年の「少」の字を表わし、上部は奥るり溪にある深山連峰を、右辺は、ひらがなの「る」の字を形どり、通天湖やるり溪の溪流を表現しています。

左の、R・Y・N・S・Cは、Rurikei Youth Nature Study Center（るり溪少年自然の家）の頭文字です。